

2022 年 関東城岳同窓会 プログラム



那覇高正面玄関 (2019 年)
写真提供 与儀幸英 (高 20 期)

2022 年 10 月 23 日 (日)
12 : 00 ~ 15 : 30
於 : 喜山倶楽部 (日本教育会館 9F)

2022 年度 関東城岳同窓会

第1部 総 会 (12:00~12:20)

開 会 の 辞 手登根 繁 (高 27 期)

会 長 挨拶 大浜 多慧子 (高 17 期)

議 長 選 出

庶 務 報 告 伊波 克雄 (高 13 期)

会 計 報 告 安次嶺 暁 (高 18 期)

監 査 報 告 比嘉 良智 (高 13 期)

審 議 事 項

1 号議案 庶務・会計報告の承認について

2 号議案 前期任期満了に伴う役員について

特別企画 (12:25~13:00)

「あなたの健康は腸内細菌の質に左右される」

山城 雄一郎 (高 13 期)

順天堂大学医学部 名誉教授 同 大学院プロバイオティクス研究講座 特任教授

沖縄県立那覇高等学校 校歌

作詞 真栄田 義見

作曲 友利 明夫

一 世紀の嵐吹きすさみ

故山の草木貌変え

千歳の伝統うつろいて

ふりぬる跡も今はなし

二 東支那海水清く

空はなごみて地は静か

乾坤ここに春に逢い

新沖縄の夜は明けぬ

三 城岳原頭空高く

いらかはそびえ地に映えて

もゆる理想の二千余の

若き力の意気高し

四 雨にも風にも嵐さえ

たゆまず進む学の道

結ぶ心のゆたかにも

励まし励む那覇高校

五 沖縄の空狭くとも

心は通う五大州

世界に伍する高き道

いざおうらかに進みなむ

第2部 懇親会

(13:10~15:30)

かぎやで風

来賓祝辞

乾杯

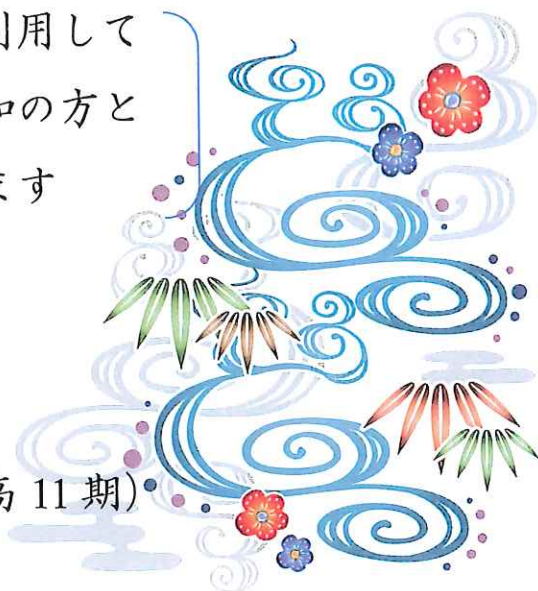
トピックス

余興

この時間帯を利用して
オンライン参加の方と
の交流を行います

校歌斉唱 全員

閉会の辞 安谷屋 武志 (高11期)



沖縄県立第二中学校 校歌

作詞 昭和三年二中在職

国漢職員

作曲 宮良 長包

一 楚辺原頭に風清く

永遠にゆるがぬ城岳

この秀麗の地をしめて

わが学び舎はそびえたつ

二 ここにつどえる健男児

剣と筆をかざしつつ

堅き雄心たゆみなく

学びの道に励むなり

三 孤島桃源夢破れ

文化の潮うず巻きぬ

日に新たなる意気をもて

久遠の勝を制すべし

四 いざもろともに奮い立ち

心に駒にむちうちて

理想の岸へひと筋に

進み進まんわが友よ

関東城岳同窓会役員

会 長 大浜 多慧子 (高 17 期)

副 会 長 安谷屋 武志 (高 11 期)

事務局長 伊波 克雄 (高 13 期) 新任

会 計 安次嶺 暁 (高 18 期)

監 事 比嘉 良智 (高 13 期)

監 事 手登根 繁 (高 27 期)

2022 年度 関東城岳同窓会 活動報告

2021 年

7 月 11 日 役員会 オンライン(ズーム)会議

8 月 6 日 役員会 オンライン(ズーム)会議

11 月 24 日 拡大役員会 五反田結まーる

2022 年

4 月 10 日 関東沖縄関係団体協議会合同盛春のつどい 大浜会長出席

5 月 24 日 役員幹事会 大崎

5 月 26 日 東京沖縄県人会総会懇親会 大浜会長出席

7 月 17 日 役員幹事会 大崎

8 月 28 日 役員幹事会(神田重田氏事務所)



関東城岳同窓会 会報



10月1日城岳同窓会が開催される「なはと」 写真提供：宮里健治(13期)
(久茂地小学校跡地に建設 2021年10月竣工した/<https://www.nahart.jp/>)

総会・懇親会を3年ぶりに開催します!!

爽秋の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

With コロナ時代の同窓会の在り方を模索していましたが、若い方からの提案と強い要望で、新しい試みとして従来の同窓会と自宅からリモートで参加できるオンライン同窓会との融合即ち総会・懇親会+オンラインツール（ズーム利用）でも参加できる形式を取り入れます。

感染予防対策を施し、10月23日(日)開催することにしました。

皆様のご出席をお待ち申し上げます。

関東城岳同窓会は来年2023年 70年目を迎えようとしています。戦後間もない昭和25年、二中卒業生の親睦団体としてスタートしましたが、昭和28年(1953年)9月に、二中・那覇高の同窓会として「関東城岳同窓会」と称することになりました。脈々と受け継がれ伝統ある同窓会を誇りに思い、守り育ててくれた先輩方に深く感謝いたします。来年は皆で70周年を祝いましょう。同窓会活動を取り巻く状況も変化しております。若い方の提案もあり、IT時代に即応できる広報手段の体制づくりも模索中ではありますが、地道に歩を進めています。

関東城岳同窓会のFacebookも開設いたしました。フォローをよろしくお願いいたします。

2022年 9月
関東城岳同窓会 会長 大浜多慧子

私ども十五期生は第二次世界大戦の最中に生を受け、幼少期に激戦地沖縄を逞しく生き抜いた世代である。とはい言え、那覇高等学校に入学したときは、朝鮮動乱を経て、まさに戦後日本国が経済復興路線に入ったときであった。当時の本土留学生制度により望んでなかった東京の大学に配属され、自然派志向の私にとっては不本意な都会暮らしとなり、社会人になった。卒後沖縄へ帰るという選択肢もあったが、出来れば北の大地に住みたかった。というのも小5の時、隣の一歳年下の子が母親の実家北海道に飛行機に乗って行って

きたとお土産をた。北の大地北の話聞き、「よ一度は飛行機に行くぞ」と思っは誰でもその気で北海道」なんが、当時の私に大きな希望としてある。就職し



持ってきてくれ北海道、雪と氷の街うし、僕も一生に乗って北海道へたものです。今でになれば「飛行機で夢でないのだとしては、一生のて焼きついたのた会社には、北海

道工場があり、何とか北海道に行きたいものだと思いながら機会を待っていた。3年目に仕事の指導で半年出張を命じられた。憧れの大地北海道、狭い沖縄の地と比べ大陸感が半端なく感じられる。度々のお出張で深く心に沁み込んでいく。四季折々の変化がいきいきと感じられる景色、海山の幸、食材が実に美味、よし、チャンスがあれば北海道の人を嫁にし、この地で一生をとという気がおきてきた。多少の紆余曲折を経ながらも私の人生は、ほぼ望みどおりに進んだようです。人生の一番充実した時期を憧れの地北海道で過ごし、私の心の故郷は北海道になってしまった。

沖縄19年、北海道43年、東京周辺17年、長さだけではない魅力を備えた北の大地が北海道です。

現役バリバリの間は縁のなかった高校同期会に、古希をきっかけに参加、もう一つの故郷に出会いました。半世紀近く疎遠になっていた友にすぐ沁みこんでいく同期会、関東在住十五期会にも足しげく通い、東京にも心の故郷ができてきた。リタイア年齢なって孫・子の事情で東京に舞い戻ってきたが、ここ東京にも、兄弟妹、旧職場の友、大学時代の仲間、長年住んだ北海道の東京余市会からも声掛けがあり参加している。

この投稿を縁に、また新しい仲間ができることを楽しみにしています。

★写真は関東在住十五期同期会「古希の桜を見る会」

★七十路の 時を背おいて 集い来し 江戸の桜に 負けぬ輝き ★

みんなで同窓会に来てほしい

那覇高 39 期 川戸（旧姓 金城）綾子



私は、那覇高校を1986年に卒業後、法政大学法学部法律学科に入学しました。

東京市ヶ谷での大学生活ではテレビで見た東京中の観光地を電車でめぐり、六大学野球応援で校歌を歌い、学生生活は勉強というより私にとっては、わくわくする社会生活の始まりでした。

しかし、東京という町はお金がかかりました。六人姉妹の長女である私は、奨学金だけでは足りず、家庭教師と塾の講師をして生

活費を稼ぎました。

いよいよ就職という時には、沖縄の銀行を第一志望に活動しましたが、当時、女子大生の就職先は事務職がメインでした。まだまだ、東京で自分を試してみたい。経済的にも親から早く自立したかったのでお給料の良い保険会社の営業職を選びました。

生命保険会社に入社し、東京中を営業で歩きました。社会人としての人との出会い。

歩いた分が、自分の評価になり給料になっていく。「営業職は大変でしょう」と言われることも多く、実際お客様が神様に見えることはないけれど、お客様との出会いは、

たくさんの本を読んでいるような、ドキュメンタリー映画を見ているような経験で私には大変さより楽しさの方が勝りました。

現在は、小学生の子供を育てながら、30人の後輩を育成する課長として営業現場を任せられ、転職もせず32年目となります。

同窓会を知ったのも、きっかけは、沖縄出身の企業が集まる会に参加したことです。何回目かの参加で城岳同窓会のお誘いをいただき、講演をうかがい、会長の大浜さんはじめ、たくさんの大先輩が、素晴らしい活躍をされていることを知り、嬉しく誇りに思う気持ちと、この同窓会にもっと早くに出会えていたらと思いました。東京での初めてだらけの不安や孤独を黙って聞いて下さり、アドバイスをくださったのではと思いました。閉会時には私も沖縄や後輩に何か残したいという気持ちでいっぱいになりました。

那覇高校時代の恩師の話、部活の話、同級生や今、何をしているのかなどあつという間に時間は過ぎ最後はカチャーシーです。

年次に関係なく酒を酌み交わし、笑いあい、踊りながら、感じたのは、卒業して何をしたのではなく、必死で自分や家族のために仕事をしたり、おいしい食事で家庭を切り盛りしたり、そんな日常を送っている同窓生が集まって、たくさんの青春がつまった那覇高校を懐かしむ。それだけで充分だと思いました。

今でこそ沖縄は、日本有数の観光地として羨ましがられる故郷第一位ですが、それを、戦後作ってきたのは、私たちなのだと自負してこれからも那覇高卒業生として頑張っていきたいと思います。

皆さん、ぜひ同窓会にみんなで来てください。

*** 計 報 ***

心よりご冥福をお祈りします

氏 名	ご逝去日	卒業年次
屋良 昭彦	令和4年	那覇高 18 期
屋良 美枝子	令和 4 年	那覇高 24 期

* 事務局が知り得たこの 1 年間の情報に限りお知らせします *

2021 年度 関東城岳同窓会会計報告

2021.9.1～2022.8.31

< 収 入 >		< 支 出 >	
年会費(96名)	192,000	通信費	16,246
懇親会費		事務費	1,760
寄附金	68,500	輸送費	
広告費		会議費	7,933
雑収入		広告費	32,000
		宴会費	
		諸会費	20,000
		印刷費	27,500
		広報費	3,960
		雑費	20,842
収入小計	260,500	支出小計	130,241
前期繰越	759,859	次期繰越	890,118
合 計	1,020,359	合 計	1,020,359

事務局: 〒245-0018 横浜市泉区上飯田町 3586-5

伊波方 電話: 045-300-1112

会報編集責任者 大浜 多恵子 電話: 03-3559-7880

関東城岳同窓会ホームページ <http://kanto-jogaku.main.jp>

(関東城岳同窓会と入力しても閲覧できます)